

文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

文理科学科2年生 中国研修旅行の充実に向けて 事前学習実施

文理科学科2年生の研修旅行が6月14日（月）から19日（土）に実施されました。目的地は中華人民共和国の北京です。中国研修旅行を有意義なものとするために様々な事前学習を実施しました。



中国歴史講座

今回の中国研修旅行で訪問する「北京」の歴史について学びました。本校地歴公民科の足立教諭が、北京の歴史的意義や今回訪れる世界文化遺産について説明しました。



中国語講座

現地でのコミュニケーション能力を高めるために、福知山市日中友好協会の皆様を講師に迎え、自分の名前や日常的会話が中国語で話せるよう指導を受けました。

生徒の上達ぶりには目を見張るものがありました。



着物着付け講座

現地の北京八一中学校交流会（本校の生徒が中国の学生に日本の文化である浴衣を着付けるイベント）に備え、京都きもの学院の先生方を講師に迎え、着付け指導をお世話になりました。



中国研修旅行の様子は次回の通信で詳細に掲載します。

「みらい学Ⅱ」 京都大学連携講座 開催

京都大学の先生方による**直接指導**が実現！

6月2日（水）、「みらい学Ⅱ」における個人研究の充実を図るため、京都大学の先生方に直接指導を受ける京都大学連携講座を開催しました。この講座では、京都大学の4名の先生方に本校にお越しいただき、生徒一人一人に丁寧に研究活動の方向性について指導していただきました。生徒たちも先生方からのアドバイスを真剣に受け止め、自分の論文の課題を確認することができました。このアドバイスをもとに生徒たちはよりレベルの高い論文完成に向けて研究活動を進めていきます。この講座は9月15日（水）にも開催し、論文指導、発表指導をお世話になる予定です。



「みらい学Ⅰ」特別講義 第二弾

京都大学の教授をお迎えし、「**環境と経済を考える**」！

6月12日（土）に「みらい学Ⅰ」特別講義を「経済学」をテーマに実施しました。京都大学大学院経済学研究科の植田和弘教授が、「環境と経済学を考える」と題して、生徒たちに経済学の最前線の内容をわかりやすく語られました。生徒達も熱心に講義に聴き入り、また積極的に質問をするなど真摯な態度が印象的でした。今後、植田先生から提示していただいた6つの研究課題をもとにグループで研究活動に取り組みます。



1年6組2番 澁谷 輝生(南陵中学校出身)
講演の冒頭で先生がおっしゃった、「自分の関心が一番大切。学問に垣根はない。」という言葉が印象に残りました。この言葉は、自分は文系なのか理系なのかというぼくの悩みをかなり晴らしてくれた気がしました。また、研究に対する姿勢についても、前回のみらい学で学んだように、「何が問題で、どんな被害があるのか。」という根本的な部分から探究していくことが大切だということをおっしゃっていました。

研究を進める上で、まず必要なことは、その問題について理解することだと思いました。成功例から教訓を得るということも、その問題の一部分について詳しく調べるということも研究の仕方の1つの道だということだったので、これからの研究にいかしたいです。

1年6組6番 岩鼻 春花(成和中学校出身)

前回とは違う「環境経済」について御講義していただき、今まで知らなかった事実や考えなどを教えていただきました。私は「環境」と「経済」とどんな関係があるのかわからなくて、どのような話を聞かせていただけるのか楽しみにしていました。しかし、講義を聴いて、経済だけを見ると環境に、環境だけを見ると経済成長に問題がおこる、トレードオフ論のように、一見関係のないように見える事象でも、密接な関係を持っていることがわかりました。

また、質問にも答えていただき、私が疑問に思っていたことにも丁寧に解説していただきとてもよくわかりました。そして質問にだけでなく、研究の進め方やテーマの決め方など、これからの研究に参考になることばかりで、とてもためになりました。これから、また研究を進めていきますが、先生のアドバイスを参考に、取り組んでいきたいです。